

青年海外協力隊 男鹿市よりセネガルへ出発、フィジーより秋田市職員が帰国

7月11日に秋田県庁で川原副知事を表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、2019年7月に秋田県内の1名を青年海外協力隊として、セネガルへ派遣します。助産師としての経験と知識を活かし、現地で地域住民のための医療支援にあたります。

出発に先立ち、7月11日に秋田県庁で川原副知事を表敬訪問するほか、出身の男鹿市を表敬訪問します。また、2019年6月末にフィジーから帰国した青年海外協力の帰国表敬も、同日秋田県庁にて行います。秋田県出身の青年海外協力隊への取材・報道、個別インタビューを是非ご検討ください。

表敬するボランティア2名の派遣国、職種、参加動機、抱負などは別紙をご参照ください。

<表敬訪問日程(実施日時順)>

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
男鹿市 市長 菅原 広二	7月9日(火)10:00~10:30 男鹿市役所 市長応接室	出発表敬者: 佐藤 絵里子
秋田県 副知事 川原 誠	7月11日(木)14:45~15:00 県本庁舎3階 第一応接室	出発表敬者: 佐藤 絵里子 帰国表敬者: 佐藤 綾己
秋田市 副市長 石井 周悦	7月12日(金)13:30~13:50 秋田市役所 市長応接室	帰国表敬者: 佐藤 綾己

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 秋田デスク(担当:野口)
 TEL/FAX:018-893-5313 E-mail:jicadpd-desk-akitaken@jica.go.jp

※このプレスリリースは、秋田県庁記者クラブで配布しています。

別紙

出発者2名、帰国者1名の派遣国、職種、参加動機、抱負など ※年齢は、すべて表敬日現在のものです。

■秋田県から出発する青年海外協力隊/2019年度1次隊 ※括弧内は、ふりがな・出身市・年齢

佐藤 絵里子さん (さとう えりこ・男鹿市・26歳)

派遣国:セネガル 職種:助産師 配属先:保健区

初めての海外旅行でインドを訪れた際に見た途上国の現実に、不条理を感じました。もやもやした気持ちを抱えたまま日本で仕事をしているなかで、青年海外協力隊に助産師として参加した方の体験談を聴く機会があり、それがきっかけで参加したいと思うようになりました。インドで感じた不条理を少しでも解決できたらという思いと、活動を通して自分の問題解決能力を高めたいと思いました。

医療施設内や住民の住居を訪問し、健康状態や生活状況をモニタリングしながら、母子の健康や地域住民の健康に関わる知識の普及活動に携わる予定です。実際の状況をよく把握し、配属先との人間関係を築いたうえで、課題解決に向かって現地の人々と共に活動していきたいと思います。

■秋田県に帰国した青年海外協力隊 ※括弧内は、ふりがな・出身市・年齢

佐藤 綾己さん (さとう あやみ・男鹿市・32歳)

派遣国:フィジー 職種:栄養師 配属先:国家食糧栄養センター

栄養指導用の教材(配布用パンフレット、展示用ポスター)の開発、栄養士向けワークショップの開催、同僚への情報提供を行いました。また、フィジーでは多くの栄養士が肥満体型であり、その栄養士たちが住民に対して食事と運動のアドバイスをしているという現状がありました。そのため、同僚に対して生活習慣の改善を促し、自らが手本となるよう働きかけを行いました。

日本とは全く異なる環境で過ごし現地の人と共に働いたことは、視野を広げるとともに、自身の今後の人生について考える機会になりました。フィジーでの2年間の生活から得た経験、見て感じて学んだことを多くの人に伝えたいと思っています。また、フィジーでの経験を仕事の中でも活かしていきたいです。

以上